

第9回児童生徒地図作品展

作品づくりを通して、地図に興味や関心を持ち、生活の中で使いこなす力を高めることを願って始まった児童生徒地図作品展は、9回目を迎えました。今年、県内の小・中・高等学校から316点の応募がありました。魅力的な作品の中から15点の入賞作品、46点の入選作品が決定しました。

子どもたちの地図作品の魅力

充実した地域探検

自分の町のことをもっと知りたい、身近な自然・環境が荒れているというのは、本当だろうか、大好きな路面電車が廃線にならないように、そのよさを地図にしたい、中山道を昔の人のように歩いてみたい、などそれぞれのテーマにそって、よく観察したり、インタビューをしたりして、情報を集めています。

岐阜県知事賞



「レトロな時代へタイムスリップ in Gifu City」
岐阜大学教育学部附属小学校 5年 内海 大成

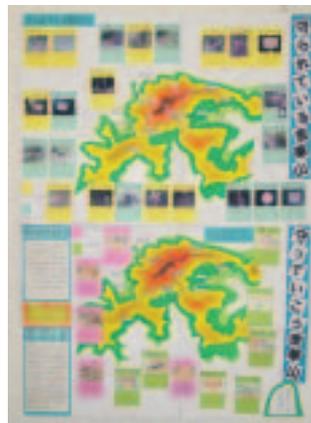
岐阜県教育長賞



「自てん車こいで三わたんけん」
岐阜市立三輪南小学校 2年 小西 はなの



「私の町岐南町平島発見マップ」
岐南町立東小学校小学校 3年 大門 明日香



「守られている金華山
守っていきこう金華山」
山県市立富岡小学校4年
村瀬 和正

創意あふれる地図表現

自分の調べたことを、いかにわかりやすく人に伝えられるか。これは、どんな表現活動でも苦勞することです。平面地図に紙粘土の立体を入れたり、昔らしさを表すために色づかいを考えたり、感想を俳句のリズムで表現したり、4枚の地図を回転させて示したり、それぞれの個性があふれるユニークな作品がたくさんあります。

国土交通省国土地理院長賞



「タイムスリップ! 私たちの小学校が
できたころを見てみよう」
岐阜市立長良東小学校3年 林真菜美